



園児と児童にマスクを寄贈

門屋地区にある株式会社オミプランテックの塩見康平代表取締役社長が4月24日、市役所を訪れてマスク1500枚を社会福祉協議会とやまもも福祉会に寄付しました。このマスクは、市内にある放課後児童クラブ、幼稚園、保育園、こども園などで使用されます。塩見さんは「お役に立ちたいと思い、寄贈させてもらった」と話しました。

◀紙袋いっぱいのマスクを手渡す塩見代表取締役社長



手作りマスクで施設を応援

市内の福祉施設でマスクが不足していると聞きつけた御前崎・白羽地区の民生委員・児童委員が4月30日、手作りした布マスク100枚を特別老人ホーム灯光園に寄付しました。森田まさ子会長は「世帯訪問など民生委員・児童委員の活動が制限される中、家においても地域のためにできることを考え、地区の委員に呼び掛けた。少しでも役立てていただきたい」と語りました。

◀澤島施設長に手作りマスクを手渡す同委員



ふ化しなかった子ガメ供養

子ガメ供養祭が5月7日、下岬区のアカウミガメふ化場で執り行われました。同供養祭は、前年度にふ化できなかった子ガメを弔うために毎年実施されています。ウミガメ保護監視員の高田正義(広沢区)さんは「年々ウミガメの上陸頭数が減っている。市と協力し、カメに悪影響を与えるものを減らしていきたい」と話しました。

◀アカウミガメのふ化場の横で執り行われた供養祭



ステッカー配り地域を応援

市内で宅配やテイクアウトサービスを提供している飲食店を応援するサイト「DEMAEZAKI」のステッカーが完成し、ステッカーをデザインした市地域おこし協力隊の金井泰士さんが5月13日、居酒屋「味処はなぐるま」に直接届けました。

店長の杉森美樹さんは「これからも店舗販売と両立させて頑張りたい」と決意を新たにしました。

◀店頭などに貼るためのステッカーを受け取る杉森さん